

令和7年度 学校評価結果公表シート

学) 常盤学園 子どもの森幼稚園

1. 本園の教育目標

- 「4つのやくそく」(いいあたま・やさしいところ・じょうぶなからだ・がまんづよいこ) を基本として教育・保育を実践し、生きる力を育成します。
- 食育の実践を通して、子どもの「食を営む力」の基礎を培います。
- 子どもが健康で安全な園生活を送るために、保護者が安心して子ども家庭、地域、関係機関との密接な連携を図ります。
- 地域子育て支援に積極的に取り組みます。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

園児にとって安心・安全な生活になるよう、教職員及び関係機関との連携体制のもと、子どもの主体的な活動を大切にして、園庭・保育室等の環境を整え、子ども達のがのびのびと遊びを楽しめる配慮や工夫を行う。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	保育の理念	A	必要な法令を理解し、教育要領、保育指針を理解した上で、園の教育理念や教育方針を理解し指導計画の更なる改善を行っている。
2	保育計画	B	具体的なねらいや内容が適切であったかどうか、幼児の活動や興味に沿って必要な援助が行われていたかどうかを繰り返し振り返り、研修を通し、色々な視点から意見を出し合い反省を生かして計画を改善している。
3	保育の在り方・幼児の対応	B	子ども一人一人の理解を深め、幼児の育ちを多面的に捉えるために職員間で意見を出し合い、今の子ども達に合った保育内容の見直しを行っていく
4	保育者としての資質と能力	B	保育者が専門職としての自覚を持ち、質の向上を行いながら、幼児の成長を喜び、一緒に生活を創り出して行く事の楽しさを感じ、意欲を持って保育に携わった。
5	地域の自然や社会との関わり	B	安全かつ安心した環境のもとで保育を行う為の環境を整え、家庭や地域、関係機関との連携を図ってきている。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	<p>評価項目について取り組んだ結果、保育の中で様々な経験や体験をし、子ども達がのびのびと個性を生かし活動する事が出来た。自然に恵まれた教育環境を活用し、畑づくりや年齢に応じた野菜の収穫は、食育指導にも繋がって来ている。</p> <p>活動の際は、関係機関医や看護師の意見も踏まえ、衛生管理や体調管理にも重視してきた。また、地域社会や、子ども達の現状を踏まえた教育計画をたて、現状に合った子どもの育成のための行事の見直しや教育課程の見直しを意識して取り組んでいる。</p> <p>専門的技術を持った美術・体育・ダンス・英語の活動を専門の講師が、子ども達の興味を引き出し、楽しく意欲的な保育を展開する事が出来た。外国籍の園児も多くなって来ている地域の現状を踏まえ、環境を整え、外国語への興味も持つようにした所、年度毎にその成果は出てきている。</p> <p>教職員はじめ、保育に携わる職員は引き続き、質の向上を目指し、保育の振返りをを行い、保育を見直し、専門職としての意識も高め、全職員が園内外の研修に出る機会も多く設け意欲的に学んで来た。小学校、老人ホーム等、地域との交流も大きな経験となった。引き続きホームページ等で園の教育を伝え、個人情報を守りながら保護者や地域に情報の配信を行い、利用しやすい施設として開かれた園を目指していく。</p>

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	法令や理念・教育方針の理解	必要な法令、教育要領、保育指針を定期的に教職員で確認し合い、園内外の研修会等に参加し、理解を深め、教職員で共通理解する。
2	保育計画の改善	全体的な計画、長期計画と短期計画の教育課程の見直しを行い、子ども達の育ちを捉えた適切なねらいや内容を計画していく。 教職員は園内外の研修と、実践により意見を出し合う場を多く持ち振り返り、改善を行っていくと共に、子どもの状況にあわせて環境を整えて行く。
3	安全管理	関係機関にも協力をもらい、緊急事態発生時計画の見直し、放送設備の整備や通園バスの安全対策の再確認、防犯対策・安全面におけるマニュアルの追加と職員の研修や訓練の更なる充実を図る
4	幼少接続	幼稚園と小学校とで情報を交換し、共に幼児期の終わりまでに育ててほしい姿を共有して教育の接続を図る事が出来る機会をふ
5	地域との関わり	コロナ渦で経験できなかった子ども達の経験を増やせるようにバスや徒歩で散歩に出かけたり、消防署見学に行ったりと園外活動を増やすと共に、地域の方に園に来て頂いての多様な交流も増やして行く。 また、インターネット配信を用いて園の情報を配信したり、地域の事を知る機会も増やして行く。

6. 学校関係者評価委員会の評価

51年の長年にわたり、地域の教育・保育に貢献してきた。職員は、園児が安心・安全に生活を送れる様に配慮し、子ども達の主体性を尊重し保育環境を整え、子ども達が楽しく遊べるよう配慮や工夫をしている。また、子ども達が毎日楽しく通園出来ている。保護者が安心して子どもを通わせることができるよう、職員や関係機関と連携を取り相談体制も整えている。

明るく対話しやすい職員が多く、活発に研修を行い、研鑽している様子が伺える。

これといった特色には欠ける部分があるものの、日々のカリキュラムや1つ1つの行事を丁寧に行っている。行事は、毎年保護者の意見が適切に取り入れられ、より良いものとなっている。「子ども誰でも通園制度」の対象園であり、地域の未就園児を持つ家庭にとっては、大変心強い。

園児ひとりひとりの気持ち、また成長に寄り添った丁寧な保育が行われている。日々の活動の中で子ども達が安心して過ごし、生き生きと取り組む姿が見られています。

今後も幼児期における豊かな経験を更に積み重ねていけるよう取組の充実を期待する。